



顧客:

Infosys Technologies Ltd.、インドのバンガロールに本社を置く次世代デジタルサービスにおけるグローバルリーダー。2025年のトップ100ブランド。

課題:

Infosysの拠点向けに、優れた費用対効果で高効率のデータセンター冷却ソリューションを複数構築する。

ソリューション:

強力でサステナブルなソリューションを提供するため、Schneider Electricのプロジェクト設計リーダーがSWEP BPHEを採用。

熱交換器:

複数の設置場所でSWEP B439製品 (4インチポート) およびB649製品 (6インチポート) を独自の冷却ソリューションに搭載。

結果:

コスト削減、効率性の向上、サステナビリティプロファイルの改善。

次世代データセンター向けの強力な データセンター冷却ソリューション

Infosysは、自分たちの負う責任は自社のビジネスだけに留まらなないと考えます。同社は、あらゆるやり取りにおいて倫理的なビジネス慣行に取り組むことが、顧客、パートナー、従業員との長期的な関係を築く鍵であると考えます。これを念頭に、同社は1996年に、事業を展開している地域社会の恵まれないグループを支援するためにInfosys Foundationを設立しました。Infosys Foundationは、女性のエンパワーメント、人間の潜在能力の向上、医療と教育へのアクセスの改善、そして環境的サステナビリティの推進に取り組んでいます。同社が自社のデータセンター向けに、省エネで環境に優しい一連の冷却ソリューションを構築するという決定は、より良い世界を構築するという同社の理想を具体的な行動に移した一例です。

SWEP BPHEの役割

Infosysは、Schneider Electricの設計チームと協力し、SWEP B439およびB649ろう付け式プレート熱交換器を使用して一次冷却源と二次冷却源を分離した複数の新ソリューションをデータセンターの冷却アプリケーション向けに開発しました。冷却塔からの水（一次冷却源）は冷却コイルに供給されて、重要なIT機器から熱を吸収します。コンパクトなSWEP BPHEは、高い動作圧力においても近接温度アプローチを提供いたします。

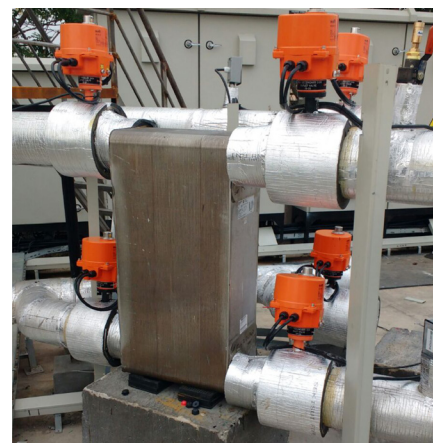


SWEP B439の設置

SWEPを選択した理由は？

Schneider Electricは、優れたエネルギー効率と信頼のおける技術サポートを理由に、SWEPのろう付け式プレート熱交換器を採用しました。「最初のプロジェクトでは、営業担当者が提供した選定シートに指定されていたパラメータに基づいて選定されたSWEP製品を選択しました」とInfosysは話します。B439（4インチポート付き）の設置後、設計パラメータが選定と一致し、その効率性が当社の要求を満たしていることを確認できました。

Infosysはパフォーマンスとコスト削減の大幅な改善を確認し、さらに4つのプロジェクトにSWEPのろう付け式プレート熱交換器を設置することを決定しました。第3プロジェクト（ハイデラバード）では、システムをアップグレードし、複数のSWEP B649製品を導入しました。各製品は6インチポートを備え、流量は350 m³/hです。「ハイデラバードキャンパスプロジェクトは当社で最もエネルギー効率の高いデータセンターであり、この効率化には熱交換器の性能が大きな役割を果たしています」と、Infosysの広報担当者は話します。



SWEP B439の設置

Infosysについての詳細

Infosys Technologiesは1981年にわずか250米ドルの資本金で設立されました。この40年間で同社はビジネスを拡大し、193億米ドル規模の企業へと成長しました（2025年度収益）。現在、Infosysは、ニューヨーク証券取引所に上場しているグローバルなコンサルティングおよびITサービス企業であり、32万3千人を超える従業員を擁し、50か国以上に顧客を抱えています。次世代サービスのグローバルリーダーとして、Infosysは、変化する世界で企業が成功するための戦略的コンサルティングとオペレーションリーダーシップを提供しています。同社はNASDAQに上場した最初のインドのIT企業です。

